

平成 25 年 度 事 業 報 告 書

自 平成25年 4 月 1 日

至 平成26年 3 月31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 評議員等	2
(1) 評議員（任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）	2
(2) 役員（任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）	2
(3) アドバイザー	2
3. 会 議	2
(1) 評議員会の開催	3
(2) 理事会の開催	3
(3) アドバイザリー会議の開催	4
4. 規程の制定および一部改正	4
(1) 規程の制定および一部改正	4
5. 事務局機構	4
6. 届出・登記事項	5
III. 事業報告【公益目的事業】	6
1. 普及および振興	6
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）	6
(2) 学校スポーツとしての育成	7
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進	8
2. 競技力の向上	9
(1) ゲートボール技能認定	9
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）	9
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催	10
(1) 全国大会の開催	10
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援	12
4. 国民体育大会	12
(1) 公開競技開催準備	12
(2) 国民体育大会の正式競技種目採択のための活動	13

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘	13
(1) 海外派遣事業（日本財団助成事業）.....	13
(2) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）.....	14
6. 競技規則に関すること	14
7. 指導者の養成	14
(1) 地域指導者の育成（日本財団助成事業）.....	14
(2) 公認指導者の養成.....	15
8. 審判員の養成および認定	16
(1) 審判研修会の開催.....	17
(2) 審判員資格試験の実施.....	17
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施.....	17
(4) 永年審判員登録者数.....	18
(5) 国際審判員資格試験の実施.....	18
9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定	23
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	23
11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	23
(1) 功労者等の表彰.....	23
(2) 各種大会への後援.....	23
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止.....	24
(4) 広報事業.....	26
(5) 会員データシステムの構築・整備.....	26
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集.....	27
【参考：各種名簿】	28
別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）.....	28
別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）.....	28
別表第3 監事：任期2年（2名以内）.....	28
別表第4 アドバイザー.....	29
別表第5 事務局組織図.....	29
【平成25年度事業報告における附属明細書】	30

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及を通じて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい国民生活の形成、活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

平成25年度も日本連合の根幹であるゲートボール普及活動として、各種事業を効果的に推進するため、地域協議会連絡会議等を開催し都道府県加盟団体（加盟団体）との情報交換の場を設定し、加盟団体の組織強化をはじめとする環境整備を図るための「基礎的条件等の整備」事業を推進する一方、近年の各界における女性の躍進に習い女性指導者の育成のための環境整備、指導者プログラムの新規作成、指導者・審判員のレベルアップのための研修会等を開催した。

また、競技レベルと審判実務レベルの向上のため5つの全国大会を開催したが、特に、愛好者層の薄いジュニア世代の充実を図るため、従来から実施している中学校・高等学校の指定校制度を継続し、小学生・中学生・高校生クラスの選手を対象とした全国ジュニア大会も18回目を開催し、2回目となる高校選手権大会も開催した。

さらに、スポーツ基本法改正に伴いスポーツ界を取り巻く環境も大きく変化し、スポーツ団体としての社会的な責任が問われるなか、平成27年の和歌山国体から公開競技としての参加が決まっていることから、ゲートボールの統括団体としてコンプライアンスを遵守し、各地域における円滑な予選会実施に向け、具体的な方策の周知を図った。

広報活動としては、通信衛星放送の「スーパーゲートボール」を継続放映し、公式ホームページの随時更新や、落語家の三遊亭円楽氏にアドバイザーに就任いただき、テレビを通じて支援をいただくほか、日本スポーツ振興センターからの助成金事業で情報誌「ゲートボール Navi 2013」を発行した。

一方、海外への普及においては、世界ゲートボール連合・アジアゲートボール連合と連携し、海外交流親善大会への選手・指導員の派遣のほか、アジア方面ばかりだけでなくヨーロッパ地域への普及にも注力したが、今までの普及活動の成果として、新たにインドネシアゲートボール協会が世界ゲートボール連合に加盟した。

また、平成26年度には第11回世界ゲートボール選手権大会が日本で開催されることから、開催地である新潟県の関係者ならびに関係機関と、開催に向けて準備を進めた。

なお、各事業実施にあたっては、関係機関の協力のもと、日本財団から貴重なボートレースの交付金による支援を得て効率的に遂行したが、ボートレース業界の行う社会貢献活動等にも積極的に協力し、公益財団法人として以下の各種事業を実施した。

II. 事務報告

1. 基本財産

平成26年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、105,098,000円となっている。

2. 評議員等

(1) 評議員（任期：平成24年4月1日～平成28年3月31日）

日本連合の評議員は7名以上10名以内である。平成26年3月31日現在の評議員は、評議員名簿（別表第1）のとおり9名で、平成25年度における評議員の異動はなかった。

(2) 役員（任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日）

日本連合の理事は7名以上10名以内、監事は2名以内である。平成26年3月31日現在の役員は、理事名簿（別表第2）のとおり理事8名、監事名簿（別表第3）のとおり監事2名で、理事1名の退任（死亡）があった。

退任（死亡）した理事 中村博彦 氏

なお、現役員の任期は、平成25年度収支決算に関する評議員会終結の時までである。

(3) アドバイザー

日本連合のアドバイザーは50名以内である。平成26年3月31日現在のアドバイザーは、アドバイザー名簿（別表第4）のとおり49名で、平成25年度におけるアドバイザーの異動は下記のとおりであった。

加盟団体名	変更前	変更後	備考
群馬県ゲートボール協会	根 萩 壽 雄	深 代 栄 三	
(特)富山県ゲートボール協会	南 民 生	河 森 敏 弘	
岐阜県ゲートボール連盟	山 崎 盛 久	杉 山 昭	
長崎県ゲートボール協会	音 辻 喜 代 春	清 水 清 富 美	
鹿児島県ゲートボール協会	上 川 勝 則	児 玉 義 人	
学 識 ア ド バ イ ザ ー	—	三 遊 亭 円 楽	新任
学 識 ア ド バ イ ザ ー	—	今 川 啓 一	新任

3. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会および理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 平成25年度定時評議員会

- ① 開催日時：平成25年6月24日（水）13:00～14:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席8名、欠席1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 平成24年度事業報告ならびに収支決算の承認に関する件
 - 第2号議案 規程の改正に関する件
 - 第3号議案 常勤役員の報酬に関する件

2) 平成25年度臨時評議員会

- ① 開催日時：平成26年3月4日（火）14:15～15:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席7名、欠席2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 定款の変更に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第4回理事会

- ① 開催日時：平成25年6月6日（木）13:00～14:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事7名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 平成24年度事業報告ならびに収支決算に関する件
 - 第2号議案 平成25年度定時評議員会の開催に関する件
 - 第3号議案 規程の制定等に関する件
 - 第4号議案 賛助会員の入会および脱退に関する件
 - 第5号議案 平成26年度日本財団等への助成金の申請に関する件

2) 第5回理事会（書面）

- ① 発信日時：平成26年1月28日（火）※みなし決議：平成26年2月7日（金）
- ② 開催場所：書面による
- ③ 回答者：代表理事を除く理事・監事全員の同意による
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 臨時評議員会の招集に関する件

3) 第6回理事会

- ① 開催日時：平成26年3月13日（木）14:00～15:00
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事8名、欠席理事0名、出席監事2名

④ 審議事項

第1号議案 平成25年度収支予算の一部補正に関する件

第2号議案 平成26年度事業計画ならびに収支予算に関する件

(3) アドバイザリー会議の開催

都道府県加盟団体に1名、学識として2名のアドバイザーを委嘱し、地域との情報交換を目的にアドバイザリー会議を開催し、参加者との活発な意見交換による日本連合の円滑な事業運営を図った。

1) 第2回アドバイザリー会議

① 開催日時：平成26年3月18日（火）13:00～15:30

② 開催場所：東京都港区 品川プリンスホテル

③ 出欠者：本人出席33名、代理出席6名、欠席10名

④ 検討項目

a. 日本連合の平成26年度事業計画について

b. 今後の事業展開について

c. アドバイザリー会議の開催時期について

d. 日本連合への要望事項について

※会議開催に合わせて、平成24年度加盟団体表彰を実施した。

（詳細は23ページ参照）

4. 規程の制定および一部改正**(1) 規程の制定および一部改正****1) 新規制定した規程（3規程）**

倫理規定、役職員行動規範、裁定委員会規程

2) 一部改正した規程（4規程）

専門委員会規程、文書管理規程、評議員ならびに役員の報酬ならびに費用に関する規程、アドバイザリー会議運営規程

3) 廃止した規程（1規程）

加盟団体表彰規程

5. 事務局機構

平成26年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員11名である。

6. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
事業計画、事業報告等 2件
- ② 文部科学省への届出
事業状況等の報告 1件
- ③ 日本体育協会への届出
事業状況等の報告 2件
- ④ 日本レクリエーション協会への届出
事業状況等の報告 2件

III. 事業報告【公益目的事業】

平成25年度は、昨年度より着手した、ゲートボールの更なる普及促進のための基盤となる指導者の養成、多様化する指導法の研究、用具開発や施設の整備支援、IT強化、加盟団体との組織強化等、「基礎的条件等の整備」事業を中心に、各種普及事業を展開した。

1. 普及および振興

(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体との組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

1) 新たなカテゴリの指導法の開発

日本連合が過去に着手し得なかった対象者への指導法の開発として、障害者および上級指導員養成に向けた教本等を作成した。

2) 用具の研究開発・環境の整備支援

文部科学省の社会教育調査報告によると全国には約2,000か所のゲートボール場（クロッケー場を含む）があると示されている（平成23年実施）。ゲートボール場施設の増加・活性化が図れるよう、新規施設の建設や既存施設の維持管理に必要な最新情報を掲載し、スポーツ施設の施工会社や施設管理者向けの参考書籍「ゲートボール場建設指針」の刷新をした。

3) IT強化

現代の情報化社会において主流といえるインターネット上での充実に向け、開発中のモバイル端末等で利用可能なアプリケーションソフトウェア（ゲートボール競技の軌跡の記録）の改良を継続して行った。

4) 各種検討会議の開催

日本連合の根幹事業となる競技会の開催、競技規則の制定等について検討するため、競技に関する高い見識と専門知識を持ち合わせた有識者、他の競技種目（サッカー）の有識者の意見を収集し、ゲートボール競技に関する検討会議を開催した。

5) 加盟団体の支援・組織体制の強化

各種普及事業を積極的に推進する意志があっても諸事情で実現できない加盟団体等を支援するとともに組織運営等に諸問題を抱える団体の実情調査や意見収集、今後の活動方針について検討会議を行った。

- ① 支援・強化に向けた加盟団体の訪問
- ② 加盟団体や地域協議会が立案した事業への支援
- ③ 地域連絡会議の実施（東北・北関東・南関東・近畿・中国・四国・九州）

6) 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、普及事業に対する理解増進、業務効率の向上、組織運営におけるガバナンス強化や透明性の確保等についての研修・伝達を行い、ゲートボール界全体としての組織強化を図った。

- ① 期 日：平成26年3月17日（月）・18日（火）
- ② 会 場：東京都港区 品川プリンスホテル
- ③ 参 加 者：加盟団体役職員 55名
- ④ 内 容：〔講演：スポーツ団体に求められるガバナンス〕
境田正樹 四谷番町法律事務所 弁護士

(2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指すためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動（クラブ・同好会）への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、12期目となる平成25年度は、新たに中学校1校、高等学校4校を支援した。

① 第12期（平成25・26・27年度）

1	青森山田高等学校	青森	2	青森市立新城中学校	青森
3	秋田クラーク高等学院	秋田	4	クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス	広島

5	クラーク記念国際高等学校 小倉キャンパス	福岡
---	-------------------------	----

② 第11期（平成24・25・26年度）

1	白樺学園高等学校	北海道	2	一関市立萩荘中学校	岩手
3	県立蔵王高等学校	宮城	4	植草学園大学附属高等学校	千葉
5	クラーク記念国際高等学校 横浜青葉キャンパス	神奈川			

③ 第10期（平成23・24・25年度）

1	盛岡市立大宮中学校	岩手	2	大崎中央高等学校	宮城
3	聖和学園高等学校	宮城	4	県立男鹿海洋高等学校	秋田
5	県立庄内総合高等学校	山形	6	県立鶴岡中央高等学校	山形
7	県立榛生昇陽高等学校	奈良	8	福智高等学校	福岡

2) 第2回全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ安全協会助成事業）

高校生へのスポーツ参加の促進および高等学校におけるゲートボール活動の更なる活性化を図るため、リレーシヨン-3（3人制）競技による本大会を昨年度に引き続き開催した。

- ① 期 日：平成25年12月14日（土）
- ② 開催地：岡山県岡山市
- ③ 会場：岡山ドーム
- ④ 主管：岡山県ゲートボール協会
- ⑤ 参加数：13校（64名）
- ⑥ 成績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	県立朝霞高等学校	埼玉
準優勝	作新学院高等学校	栃木
第3位	県立西脇高等学校	兵庫

3) ジュニア国際交流事業

アジア・オセアニア地域のジュニアやユースを集め、日本で国際交流会を実施する予定であったが、諸般の事業により取りやめた。

(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーション-2、リレーション-3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では高等学校選手権大会で採用し、全国大会等も視野に入れて普及に努めた。

2. 競技力の向上

(1) ゲートボール技能認定

競技力を向上させるための事業の一環として、平成20年度より導入したゲートボール技能認定事業を継続的に実施した。平成25年度は、6加盟団体で実施し、547名が技能保持者として登録した。

1) 加盟団体別の技能認定登録者

加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計	加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計
		1級	2級	3級				1級	2級	3級	
北海道					72	滋賀					8
青森					0	京都	17	17			274
岩手	481	35	152	294	714	大阪					0
宮城					126	兵庫					439
秋田	7	3	4		7	奈良					15
山形					66	和歌山					14
福島					83	鳥取					0
茨城					21	島根					0
栃木					25	岡山					0
群馬					0	広島					0
埼玉					69	山口					0
千葉					32	徳島					14
東京					85	香川					10
神奈川	26	26			39	愛媛					12
新潟	10	4	4	2	531	高知					0
富山	64	6			6	福岡					148
石川					0	佐賀					79
福井					38	長崎					31
山梨					0	熊本					43
長野					254	大分					19
岐阜					62	宮崎					19
静岡					50	鹿児島					30
愛知					0	沖縄					25
三重					53	計	605	91	160	296	3,513

(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）

競技スポーツとして新しいゲートボールを確立するため、サッカーや野球等のメジャースポーツにおいて試合中継やメディア速報等へデータ提供を行っている企業と協同し、多様化するプレースタイルや進化するチーム戦術等を科学的に検証できるソフトウェアの開発に着手した。

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催

1) 笹川良一杯 第28回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成25年6月1日（土）・2日（日）
- ② 開催地：栃木県日光市 今市青少年スポーツセンター陸上競技場・サッカー場
- ③ 主 管：栃木県ゲートボール協会
- ④ 参加チーム：188チーム（1,085名）
- ⑤ 成 績

シニアクラス（48チーム）			シニアレディースクラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	小 松 島	徳 島	優 勝	ウインゲッターS.L	東 京
準優勝	埼 玉 S G K	埼 玉	準優勝	い ろ は	新 潟
第 3 位	明 日 香	鹿 児 島	第 3 位	太 田 ま り も	群 馬
	葛 城	奈 良		あ す か	岐 阜
ミドルクラス（48チーム）			ミドルレディースクラス（44チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	大 垣 心 友 会	岐 阜	優 勝	フレンズスポーツML	鹿 児 島
準優勝	川 辺 ク ラ ブ	鹿 児 島	準優勝	ペ ガ サ ス	宮 城
第 3 位	高 松	香 川	第 3 位	福 美 会	福 岡
	T K E	新 潟		みなみレディース	茨 城

※シニアクラス・シニアレディースクラス 65歳以上の男性・女性

ミドルクラス・ミドルレディースクラス 18歳以上65歳未満の男性・女性

2) 内閣総理大臣杯 第30回全日本世代交流ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成25年8月3日（土）・4日（日）
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：48チーム（308名）
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	フレンズスポーツB	鹿 児 島
準優勝	大 阪 み ど り	大 阪
第 3 位	朝 霞 リ ン ク ス	埼 玉
	萬 燈 組	愛 知
文部科学大臣賞	朝 霞 リ ン ク ス	埼 玉

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチームを構成する。

3) 第18回全国ジュニアゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成25年8月3日（土）・4日（日）
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：73チーム（521名）
- ⑤ 成 績

ジュニア男子1部クラス（24チーム）			ジュニア女子1部クラス（23チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	島 根	島 根	優 勝	福 智 高 校	福 岡
準優勝	朝 霞 ク ラ ブ	埼 玉	準優勝	黒 田 庄 ハ ニ ー ズ	兵 庫
第 3 位	南 大 隅 ク ラ ブ	鹿 児 島	第 3 位	出 雲 西 高 校 女 子	島 根
	岡 崎	愛 知		作 新 ク ラ ブ	栃 木
ジュニア2部クラス（26チーム）			※ジュニア1部男子クラス 15歳以上18歳未満の男性 ※ジュニア1部女子クラス 15歳以上18歳未満の女性 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	久 慈 来 内 ジュ ニ ア	岩 手			
準優勝	わ い わ い ク ラ ブ	鹿 児 島			
第 3 位	黒 田 庄 エ ン ジ ェ ル ズ	兵 庫			
	マ チ ル ダ	北 海 道			

4) 第15回全国社会人ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成25年9月21日（土）・22日（日）
- ② 開催地：千葉県成田市 中台運動公園 陸上競技場
- ③ 主 管：千葉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：36チーム（220名）
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体	※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。
優 勝	緑 風 会	徳 島	
準優勝	桜 花 寮	新 潟	
第 3 位	糸 口 厚 生 園	大 分	
	ス ー パ ー キ ン グ	福 井	

5) 文部科学大臣杯 第29回全日本ゲートボール選手権大会

（スポーツ振興基金助成事業）

- ① 期 日：平成25年10月19日（土）・20日（日）
- ② 開催地：山形県天童市 山形県総合運動公園 NDソフトスタジアム山形
- ③ 主 管：山形県ゲートボール協会
- ④ 参加チーム：48チーム（285名）
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体	※年齢・性別不問
優 勝	佐 多 キ ン グ	鹿 児 島	
準優勝	T K E	新 潟	
第 3 位	ブ ラ ジ ル ク ラ ブ	愛 知	
	都 城 友 の 会	宮 崎	

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月13日・14日	20	胆振はやぶさ
東北	山形	8月17日・18日	24 24	北上二子（無制限） 岩手滝沢（65歳以上）
北信越	長野	5月25日・26日	100	ザ松任
北関東	茨城	8月24日・25日	64	佐野クラブ
南関東	山梨	8月25日	32	F C 笛吹
東海	静岡	11月2日	32	大垣
近畿	京都	9月14日・15日	108	大阪みどり
中国	鳥取	9月28日・29日	40 20	和気あいあい（一般） 小田タンポポ（女子）
四国	香川	5月19日	48	仁淀川
九州	長崎	11月16日・17日	64	熊本ハッピー

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	山形	8月17日・18日	4	久慈来内
南関東	山梨	8月25日	6	ブルークラウン（1部） さがみっ子（2部）
九州	鹿児島	8月17日・18日	5	わいわいクラブA

③ 地域ミドル大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国	徳島	8月25日	20	むささび
九州	佐賀	8月17日・18日	16	長崎クラブ

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援し、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力の向上を図るとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識強化を促した。

4. 国民体育大会

(1) 公開競技開催準備

平成27年の第70回国民体育大会（和歌山大会）より公開競技として実施するゲートボール競技に関し、公開競技実施基準等の確認、今後の開催準備業務スケジュール

ル等について、日本体育協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。なお、国体改革第1期（第70回～第73回）における国民体育大会の開催地およびゲートボール競技の会場地は以下のとおり。

回数	開催年	開催地	会場地市町村
第70回	平成27年	和歌山県	高野町
第71回	平成28年	岩手県	花巻市
第72回	平成29年	愛媛県	松山市
第73回	平成30年	福井県	若狭町

※ 国体改革第2期（第74回～第77回）の実施競技において、日本連合では、日本体育協会および国民体育大会委員会に対し、正式競技としての参加を強く希望したところではあるが、国体実施競技選定調査の結果、第2期の実施区分においても公開競技として実施することが決定した。

(2) 国民体育大会の正式競技種目採択のための活動

引き続き、改革第3期（第78回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本体育協会、都道府県体育協会への働きかけを行った。

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

(1) 海外派遣事業（日本財団助成事業）

日本連合は、国際交流活動の一環として世界各地への普及活動に対し、選手や国際審判員、指導員等を派遣するとともに、平成26年に新潟県で開催の第11回世界ゲートボール選手権大会の成功に向けた諸準備に向け役職員を派遣した。

さらに、これまでのホームページ等による広報活動の成果として、五大大陸への普及がさらに充実した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
日本	7月1日	第11回世界ゲートボール選手権大会 事前打ち合せ	2名
スイス	9月4日～10日	スイスにおける ゲートボール普及活動	10名
ベトナム	2月16日～19日	ベトナムにおける ゲートボール現状視察	2名
日本	2月28日	第11回世界ゲートボール選手権大会 合同委員会出席	2名
日本	3月14日	第11回世界ゲートボール選手権大会 常任委員会出席	1名
日本	3月25日～26日	第11回世界ゲートボール選手権大会 組織委員会出席	3名

(2) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会・普及事業に日本チームおよび国際審判員の派遣協力を行い、国際親善の促進に努め、平成25年度は以下のとおり、役員、職員等を派遣した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
タイ	7月2日～9日	第2回タイ国際ゲートボール大会出席	4名
ブラジル	7月3日～11日	第15回南米ゲートボール選手権大会出席	1名
カナダ	7月12日～17日	全カナダゲートボール連盟設立25周年記念ゲートボール大会出席	6名
マカオ	11月3日～7日	第12回アジア都市招待ゲートボール親善大会出席	13名
インドネシア	11月13日～18日	バリ島デンパサール国際ゲートボール大会出席	8名
オーストラリア	11月20日～26日	ニューサウスウェールズゲートボール選手権大会	13名
台湾	11月28日～ 12月2日	2013台湾桃園国際ゲートボール選手権大会	7名
香港	12月5日～9日	第6回アジア都市招待ゲートボール選手権大会	7名
アメリカ	3月7日～11日	日本・ハワイ親善交流大会	24名

6. 競技規則に関すること

世界ゲートボール連合が制定している国際公式ゲートボール競技規則の次期改正に向け、現行競技規則についてのアンケート調査を実施するとともに、競技に関する有識者会議を開催し、世界ゲートボール連合に提案する内容の検討を行った。

7. 指導者の養成**(1) 地域指導者の育成（日本財団助成事業）**

1) 指導者研修会の開催

普及活動の根幹を担う地域指導者の資質向上および指導者のネットワークの構築を図るため、外部講師を招いての研修会を開催した。

- ① 期 日：平成26年2月25日（火）・26日（水）
- ② 会 場：東京都港区 品川プリンスホテル
- ③ 参加者：加盟団体役員ならびに女性役員・指導者 59名
- ④ 内 容 〔来賓挨拶〕

西川京子 文部科学副大臣

〔研修：ゲートボール指導者全国調査から見る普及のヒント〕

松尾哲矢 立教大学コミュニティ福祉学部教授

松澤淳子 早稲田大学スポーツビジネス研究所招聘研究員

〔講演：ドーピング防止（アンチ・ドーピング）活動への第一歩〕

関水康成 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

アンチ・ドーピング委員 スポーツファーマシスト

〔講演：スポーツ指導者における倫理について〕

清水隆一 清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表取締役社長

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は日本体育協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と専門科目、双方の科目を履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、引き続き指導員資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
長野	長野県松本市	平成25年6月10日～6月12日	10
埼玉	埼玉県伊奈町	平成25年9月25日～12月8日	19
合計			29

2) 準指導員の登録者数

平成25年度の準指導員登録更新者数は1名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新数	累計
北海道			4
青森			1
栃木			1
長野			1
三重			2
岡山			9
広島			1
福岡		1	1
長崎			2
合計	0	1	22

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

平成25年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は1,429名となり、前年度1,708名からの増減により279名の減となった。

加盟団体	登録者数	加盟団体	登録者数
北海道	20	滋賀	20
青森	7	京都	37
岩手	4	大阪	33
宮城	38	兵庫	16
秋田	9	奈良	2
山形	11	和歌山	2
福島	7	鳥取	4
茨城	24	島根	6
栃木	18	岡山	35
群馬	29	広島	39
埼玉	148	山口	5
千葉	41	徳島	17
東京	23	香川	32
神奈川	53	愛媛	13
新潟	140	高知	7
富山	7	福岡	19
石川	22	佐賀	7
福井	17	長崎	40
山梨	16	熊本	5
長野	289	大分	16
岐阜	61	宮崎	19
静岡	29	鹿児島	12
愛知	9	沖縄	2
三重	19	合計	1,429

8. 審判員の養成および認定

競技スポーツに必要な審判員の新規受験者・登録更新者の養成に努めた。

さらに、日本連合が主管して平成26年度に開催する第11回世界ゲートボール選手権大会に向けて、国際審判員のさらなる養成、資質向上に努めた。

(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の研修会を実施した。

1) 平成25年度「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
栃木	塩原 B & G 海洋センター	平成25年 4月23日	180名
		5月18日	147名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	平成25年 7月10日	103名
		7月24日	112名
千葉	中台運動公園	平成25年 9月7日	65名
		9月19日	66名
山形	天童市スポーツセンター すばーく山辺	平成25年 8月25日	127名
		10月8日	128名
高知	四万十町会館・窪川ドーム 窪川ドーム	平成25年 8月18日	45名
		9月28日	48名
合計			1,021名

(2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成と技能向上を図るため、各級の審判員資格試験を実施した。

1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備考
1 級	430	430	38加盟団体で実施
2 級	733	720	38加盟団体で実施
3 級	3,469	3,466	44加盟団体で実施
合計	4,632	4,616	

※詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」(19ページ) 参照

(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の維持・管理、技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、平成25年度の新規登録者数は4,599名、登録更新者数は38,080名となった。

1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	440	5,774	6,214
2 級	732	5,965	6,697
3 級	3,427	26,341	29,768
合計	4,599	38,080	42,679

※詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」(20ページ) 参照

(4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	9	6	2	17

※永年審判員の登録者数は「永年審判員級別一覧表」(22ページ) 参照

(5) 国際審判員資格試験の実施

日本開催の第11回世界ゲートボール選手権大会に向け、国際審判員を養成するため、国際審判員資格試験を実施した。

1) 国際審判員登録者数一覧表(日本国内) ※平成25年度に登録完了した者

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数	累計
埼 玉					1
千 葉					19
東 京					47
神 奈 川					13

新 潟	5	5	5	25	50
富 山				1	2
福 井	2	2	2	3	5
長 野				6	6
滋 賀				2	2
和 歌 山				1	1
岡 山				2	2
広 島				6	6
徳 島					7
香 川					11
福 岡					4
佐 賀					1
長 崎					6
熊 本					1
大 分					1
鹿 児 島					3
合 計	7	7	7	46	188

審判員資格試験実施結果一覧表

平成26年3月31日

加盟団体	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
北海道	8		8	17		17	73	73
青森							4	4
岩手	7		7	13		13	57	57
宮城	12		12	12		11	41	41
秋田							10	10
山形							35	35
福島	14	1	15	15	1	15	130	130
茨城							58	58
栃木	17		17	21		21	48	45
群馬	19		19	28		28	58	58
埼玉	19		19	14		14	113	113
千葉	15		15	12		12	46	46
東京	32	2	34	41	2	40	169	169
神奈川	10	1	11	33	1	34	163	163
新潟	42		42	73		72	216	216
富山	7		7	26		26	41	41
石川								
福井	18		18	31		31	57	57
山梨	4		4	3		3	101	101
長野	44		44	67		65	224	224
岐阜	14		14	11		11	84	84
静岡	7		7	14		14	31	31
愛知	9		9	9		8	82	82
三重	8		8	20		20	65	65
滋賀	5		5	11	2	11	138	138
京都	11		11	20		19	52	52
大阪	12		12	22		22	132	132
兵庫	9		9	28		28	81	81
奈良	14		14	14		14	56	56
和歌山	1		1	4		4	37	37
鳥取								
島根	8		8	15		15	47	47
岡山							32	32
広島	17		17	9		9	45	45
山口	5		5	14		14	10	10
徳島	2		2	1		1	174	174
香川	1		1	14		13	49	49
愛媛	4		4	4		4	56	56
高知								
福岡	1		1	6		6	93	93
佐賀	4		4	18		18	128	128
長崎	9		9	26		26	86	86
熊本	5		5	21		21	35	35
大分	4		4	6		6	90	90
宮崎							38	38
鹿児島	4		4	20		20	163	163
沖縄	4		4	14		14	21	21
合計	426	4	430	727	6	720	3,469	3,466

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

平成26年3月31日

項目 加盟団体	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
北海道	8	17	73	98	211	243	741	1,195	1,293
青森			4	4	10	30	91	131	135
岩手	6	13	57	76	121	178	857	1,156	1,232
宮城	12	11	40	63	130	96	398	624	687
秋田	1		10	11	33	21	206	260	271
山形			35	35	98	55	288	441	476
福島	15	15	130	160	140	103	932	1,175	1,335
茨城	8	5	58	71	79	113	413	605	676
栃木	17	21	45	83	107	70	424	601	684
群馬	19	28	58	105	94	47	249	390	495
埼玉	19	14	113	146	210	112	1,024	1,346	1,492
千葉	15	12	46	73	115	92	428	635	708
東京	32	40	169	241	111	125	733	969	1,210
神奈川	11	34	163	208	153	179	926	1,258	1,466
新潟	42	72	216	330	410	352	1,919	2,681	3,011
富山	7	26	41	74	104	124	395	623	697
石川				0	80	56	100	236	236
福井	18	31	57	106	129	177	414	720	826
山梨	4	3	101	108	104	159	901	1,164	1,272
長野	44	65	224	333	387	273	1,290	1,950	2,283
岐阜	14	11	84	109	177	255	669	1,101	1,210
静岡	7	14	31	52	181	148	409	738	790
愛知	9	8	82	99	175	162	731	1,068	1,167
三重	8	20	65	93	108	105	504	717	810
滋賀	5	11	138	154	125	200	907	1,232	1,386
京都	11	19	52	82	155	181	738	1,074	1,156
大阪	12	22	132	166	291	394	909	1,594	1,760
兵庫	5	27	81	113	224	201	615	1,040	1,153
奈良	14	14	56	84	151	99	389	639	723
和歌山	1	4	37	42	9	63	235	307	349
鳥取				0	44	49	65	158	158
島根	8	15	48	71	153	184	822	1,159	1,230
岡山			32	32	98	100	410	608	640
広島	17	9	45	71	149	149	554	852	923
山口	5	14	10	29	45	49	176	270	299
徳島	2	1	174	177	62	63	238	363	540
香川	1	13	49	63	94	95	331	520	583
愛媛	4	4	56	64	5	3	400	408	472
高知	8	8		16	26	14	52	92	108
福岡	1	6	93	100	95	106	427	628	728
佐賀	4	18	91	113	93	91	431	615	728
長崎	9	26	84	119	114	125	541	780	899
熊本	5	21	35	61	63	112	480	655	716
大分	4	6	90	100	67	139	706	912	1,012
宮崎			38	38	94	60	264	418	456
鹿児島	4	20	163	187	127	200	1,231	1,558	1,745
沖縄	4	14	21	39	23	13	378	414	453
合計	440	732	3,427	4,599	5,774	5,965	26,341	38,080	42,679

審判員級別一覧表

平成26年3月31日

加盟団体	級	1 級	2 級	3 級	合 計
北海道		412	453	1,640	2,505
青森		18	63	234	315
岩手		276	391	1,981	2,648
宮城		223	176	986	1,385
秋田		61	48	490	599
山形		277	159	638	1,074
福島		287	214	1,945	2,446
茨城		183	251	1,002	1,436
栃木		243	162	973	1,378
群馬		174	121	336	631
埼玉		523	266	2,264	3,053
千葉		226	246	946	1,418
東京都		278	279	1,776	2,333
神奈川県		373	420	2,159	2,952
新潟		663	621	3,740	5,024
富山		237	313	826	1,376
石川		85	133	157	375
福井		271	387	999	1,657
山梨		259	294	1,774	2,327
長野		927	669	3,002	4,598
岐阜		362	483	1,536	2,381
静岡		305	303	1,127	1,735
愛知		381	332	1,677	2,390
三重		190	246	1,125	1,561
滋賀		274	457	2,135	2,866
京都		353	420	1,626	2,399
大阪		336	400	1,987	2,723
兵庫		266	392	1,202	1,860
奈良		284	195	1,021	1,500
和歌山		118	171	551	840
鳥取		105	79	199	383
島根		280	316	1,748	2,344
岡山		229	199	1,033	1,461
広島		350	351	1,255	1,956
山口		60	80	231	371
徳島		138	139	804	1,081
香川		216	196	781	1,193
愛媛		136	90	597	823
高知		45	32	105	182
福岡		230	239	1,002	1,471
佐賀		166	180	1,146	1,492
長崎		165	144	671	980
熊本		108	242	825	1,175
大分		175	275	1,581	2,031
宮崎		168	126	588	882
鹿児島		178	165	1,658	2,001
沖縄		47	50	695	792
合 計		11,661	11,968	56,774	80,403

永年審判員級別一覧表

平成26年3月31日

加盟団体	級	平成25年度 新規登録者			累 計 数			合 計
		1級	2級	3級	1級	2級	3級	
北海道			1		9	9	3	21
青森			1		2	2		4
岩手		1	1		6	1		7
宮城		1		2	13	20	24	57
秋田								
山形					2	1		3
福島		1			6			6
茨城					1			1
栃木					2			2
群馬								
埼玉					2	1		3
千葉		2			3	1		4
東京都			2		3	6		9
神奈川県		1			12	4	1	17
新潟					2	1		3
富山								
石川								
福井					1			1
山梨					1		1	2
長野		1			2			2
岐阜		1			2	5	2	9
静岡					4	2	1	7
愛知					7	1		8
三重					1	1		2
滋賀					8	4	2	14
京都		1			3	1	1	5
大阪			1		5	4		9
兵庫								
奈良							1	1
和歌山					1	4	5	10
鳥取								
島根								
岡山					3			3
広島					5	2	2	9
山口								
徳島					1		2	3
香川								
愛媛					7		4	11
高知					3			3
福岡						1		1
佐賀					1			1
長崎					7			7
熊本							1	1
大分								
宮崎					2	1		3
鹿児島					1	2	1	4
沖縄								
合 計		9	6	2	128	74	51	253

9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を13社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

競技規則や審判実施要領等の書籍を刊行した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

1) ゲートボール・テキストの作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

ルールに関する競技等でのトラブル防止や「フェアプレイ」「アンチ・ドーピング」等の日本のスポーツ界が推進する内容の周知徹底を強化するため、「ゲートボール・テキスト」を作成・配布するとともに、ホームページ上で公開し、情報提供を行った。

作成数：100,000部

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功績のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。

また、会員の新規獲得や、各種普及事業への貢献度、公認審判員数、全国大会の参加率等を基準に顕著な成績を収めた加盟団体を表彰した。

1) 功労賞等の表彰結果

① ゲートボール功労賞 43名

② 健康功労賞 285名

③ 審判功労賞 243名

④ 加盟団体表彰 総合 第1位 埼玉県ゲートボール連盟
第2位 宮城県ゲートボール連盟
第2位 福島県ゲートボール協会

会員比審判員登録率（対前年比）の部 兵庫県ゲートボール連合

全国大会参加率の部 神奈川県ゲートボール連合

// 新潟県ゲートボール連盟

// 島根県ゲートボール協会

(2) 各種大会への後援

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第25回さくらんぼゲートボール全国大会	さくらんぼゲートボール全国大会実行委員会	山形県東根市	6月19日～6月20日
第26回記念発祥の地杯全国ゲートボール大会	芽室町芽室町教育委員会	北海道芽室町	8月31日～9月1日
第30回火の国全国ゲートボール大会	第30回火の国全国ゲートボール大会実行委員会	熊本県熊本市	10月11日
三遊亭円楽杯”ゲートボール交流大会&落語の集い	蔵王町	宮城県蔵王町	10月29日～10月30日
第26回全国健康福祉祭こうち大会(ねんりんピック)	ねんりんピックよさこい高知2013土佐清水市実行委員会	高知県土佐清水市	10月26日～10月27日
第22回小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会実行委員会	香川県小豆島町	3月1日～3月2日

(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

基礎的条件等の整備事業の実施過程において、各加盟団体に対し障害者に関するゲートボール競技会の実施状況のアンケート調査、全国の公認スポーツ指導者(ゲートボール)有資格者に対してはゲートボール指導者の活動実態に関するアンケート調査を行い、各種事業への参考指針とした。

また、ゲートボール競技参加に係る事故にあった会員に見舞金を支給するとともに、事故の事例を収集し、ゲートボール活動中の事故防止の啓発に努めた。

平成25年度の見舞金対象者は106,633名となり、前年度と比較して10,839名減少した一方、支給件数も前年比19件の減少となった。

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	死 亡	入 院	通 院	見舞金支給額(円)
平成24年度	117,472	125	8	50	67	5,975,000
平成25年度	106,633	106	4	49	53	5,545,000

② 平成25年度ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	計
骨 折		19	13					8	11		27	24	51
打 撲		1	10						1		1	11	12
挫 傷		1	3					2	1		3	4	7
捻 挫			5						3			8	8
心臓器障害				2	5						2	5	7
脳疾患					7						7		7
その他		3	6	2	2			1			2	6	6
合計	0	24	37	4	14	0	0	11	16	4	49	53	106

③ 平成25年度見舞金対象者数および事故発生状況一覧表

加盟団体	見舞金対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	死亡	入院	通院
北海道	1,032							
青森	585	1	1				1	
岩手	3,897	5	1	2	2		4	1
宮城	3,462	4	2	1	1	1		3
秋田	1,203	3		1	2	1		2
山形	1,811	3			3			3
福島	3,885	3	1	1	1	1		2
茨城	2,081	1		1			1	
栃木	2,481	3	3				3	
群馬	1,622							
埼玉	5,079	5	1	2	2	1	2	2
千葉	2,068	3	3				1	2
東京	1,304	3	1	1	1		1	2
神奈川	3,249	3	2		1		1	2
新潟	7,777	5	2	2	1		3	2
富山	1,932	1		1			1	
石川	752	1	1				1	
福井	2,578	1	1					1
山梨	2,971	2	1	1			1	1
長野	5,965	4	3		1		3	1
岐阜	3,241	4	3		1		3	1
静岡	2,390	1	1					1
愛知	2,332	2	2				1	1
三重	1,902	1	1					1
滋賀	4,373	5	4		1		3	2
京都	2,952	1			1			1
大阪	2,889	5	4		1		2	3
兵庫	3,106	6	4	1	1		1	5
奈良	1,435							
和歌山	990	1	1					1
鳥取	278							
島根	2,900							
岡山	1,793							
広島	2,680	12	11		1		6	6
山口	546							
徳島	880							
香川	993	2	1		1		1	1
愛媛	804	1	1					1
高知	173	1	1				1	
福岡	1,684	1	1					1
佐賀	1,889	4			4		1	3
長崎	2,368	3	1	2			2	1
熊本	2,397							
大分	2,092	2	1	1			2	
宮崎	441							
鹿児島	2,674	3	1	1	1		3	
沖縄	697							
合計	106,633	106	61	18	27	4	49	53

2) ドーピング防止活動の協力推進

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の協力を得ながら、全国大会出場チームに対してガイドブック等の配布を行うほか、指導者研修会において他の競技団体（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会）のアンチ・ドーピング委員スポーツファーマシストによる講演を行い、ドーピングの防止活動を行った。

今後も、ドーピングに関する啓蒙活動の推進および検査実施に向けた体制づくりや環境整備を図っていく。

(4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」を随時更新することにより、ゲートボールに関する各種の情報を国内外に発信した。

また、ゲートボール情報誌「ゲートボールNavi」を1回発行し、見舞金対象者に配付することにより、紙媒体での情報提供にも努めた。

さらに、テレビ、新聞等マスコミ各社に対しても、全国大会の告知のほか適宜ニュースリリース等を配信し、ゲートボールの多様な価値と役割、特に地域の活性化や高齢化社会におけるニーズ等を広く社会にアピールした。

1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

平成25年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ① 期 間 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
- ② 制作配信 日本レジャーチャンネル
- ③ 配信方法
 - a. スカイパーフェクTV! 380ch 680ch
 - b. ケーブルテレビ162局（平成26年3月31日現在）
- ④ 放送回数 365回（毎朝6:00～6:55）

2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ① 名 称 等：ゲートボールNavi2013年号（A4版、縦、カラー、本文30ページ）
- ② 発 行 日：平成25年12月
- ③ 発 行 数：118,000部
- ④ 配 付 先：見舞金対象者ほか

(5) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が管理・運用している審判員、見舞金対象者等のデータ一元化により日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、「会員データシステム」の整備を進め、基本システムを加盟団体に実際に操作してもらい、より操作性の良いシステム作りを目指した。

(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄附金・賛助金および協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員30社（平成26年3月31日現在）

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市堀込町2541
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市島内5330
株式会社サン	新潟県三条市下須頃5-1
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城5-9-14
株式会社シャトル	福井県越前市家久町87-21-1
株式会社ロンウッド	富山県南砺市法林寺518
株式会社本郷	広島県廿日市市木材港北1-4
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里3-12-23
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町1-12-8
有限会社やるき産業	熊本県熊本市南區城南町今吉野1048-2
羽立工業株式会社	静岡県湖西市新所3
株式会社ウシクボ	東京都墨田区東向島6-15-7
井上工業株式会社	兵庫県加東市上滝野1613
トップツアー株式会社	東京都新宿区西新宿7-5-25
大日本トラベル株式会社	東京都港区新橋5-25-4
東日観光株式会社	東京都中央区築地4-7-5
近畿日本ツーリスト株式会社	東京都千代田区神田松永町19-2
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区西五反田2-12-3
株式会社日本旅行	東京都新宿区左門町16-1
株式会社天賞堂	東京都中央区銀座4-3-9
株式会社かいせい	東京都港区西新橋2-15-3
株式会社恒亜印刷	東京都文京区千石2-4-5
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区西神田3-3-5
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市矢野口3266-1
株式会社サンワ	埼玉県戸田市新曽2002
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区西新橋2-2-4
株式会社イルマックス	東京都墨田区緑2-11-2
株式会社ジェイティービー	東京都品川区東品川2-3-11
株式会社健康プラザパル	東京都中央区新川1-17-21
HOYA株式会社	東京都中野区中野4-10-2

2) 大会協賛企業

山崎製パン株式会社	トップツアー株式会社
一般財団法人BOAT RACE振興会 (通称：BOAT RACE振興会)	株式会社シャトル 株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー
近畿日本ツーリスト株式会社	株式会社健康プラザパル
名鉄観光サービス株式会社	HOYA株式会社

3) 寄付金

平成25年度において、団体運営に対する一般寄付・指定寄付はなかった。

【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）

平成26年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
荒木田裕子	公益財団法人日本オリンピック委員会 理事	
岡 寄 修 平	海洋政策研究財団 常務理事	
児 玉 義 人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
広 渡 英 治	公益財団法人日本吟剣詩舞振興会 常任理事	
藤 川 務	BOAT RACE振興会 常務理事	
本 郷 明 義	広島県ゲートボール連合 会長	日本ゲートボール 認定用品工業会会長
三ツ谷洋子	株式会社スポーツ21エンタープライズ 代表取締役	
若 林 静 子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡 邊 一 利	公益財団法人笹川スポーツ財団 専務理事	

別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）

平成26年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
小 野 清 子	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
遠 藤 容 弘	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
石 川 牧 子	株式会社日テレイベンツ 常務取締役	
梅 村 和 伸	公益財団法人全国高等学校体育連盟 専務理事	
小 池 保 夫	一般財団法人日本モーターボート競走会 専務理事	
小 高 幹 雄	BOAT RACE振興会 会長	
鈴 木 克 昌	愛知県ゲートボール連盟 会長	衆議院議員 (元蒲郡市長)
船 田 元	栃木県ゲートボール協会 会長	衆議院議員

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

平成26年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
西 本 克 己	株式会社東京ビー・エム・シー 代表取締役社長	
天 城 一	公益財団法人社会貢献支援財団 専務理事	

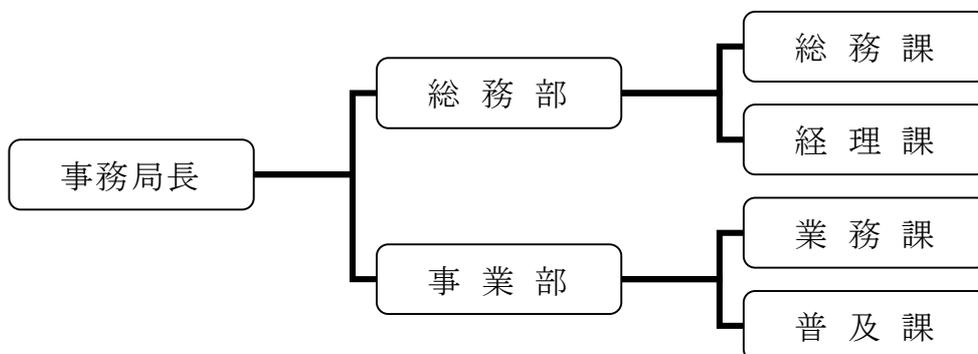
別表第4 アドバイザー

平成26年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
戸部 英一	北海道 G B 連合	鈴木 信久	京都府 G B 連合
久米田 勇二	青森県 G B 協会	宮本 泰子	大阪 G B 連盟
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	田 桑 稔	兵庫県 G B 連合
佐藤 黎子	宮城県 G B 連盟	上西 綱雄	奈良県 G B 協会
佐々木 兼光	秋田県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
栴田 敏行	山形県 G B 協会	中村 孝太郎	鳥取県 G B 協会
石井 賢明	福島県 G B 協会	梶田 郁宗	島根県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	瀧口 壽美男	岡山県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
深代 栄三	群馬県 G B 協会	中田 憲明	山口県 G B 協会
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
石井 準一	千葉県 G B 連盟	川畑 省三	香川県 G B 連盟
高橋 純一	(特)東京 G B 連合	豊田 義登	愛媛県 G B 連合
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	山内 高	高知県 G B 協会
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	月岡 美次郎	福岡県 G B 連合
河森 敏弘	(特)富山県 G B 協会	古賀 俊弘	佐賀県 G B 協会
小林 繁樹	石川県 G B 協会	清水 清富美	長崎県 G B 協会
古崎 邦夫	福井県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
加藤 晃夫	山梨県 G B 協会	小野 悟	大分県 G B 協会
三ツ井 盈	長野県 G B 連盟	渡邊 徹雄	宮崎県 G B 協会
杉山 昭	岐阜県 G B 連盟	児玉 義人	鹿児島県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	玻名城 英僖	沖縄県 G B 連合
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	三遊亭 円楽	学 識
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓一	学 識
山本 議照	滋賀県 G B 連盟		

別表第5 事務局組織図

平成26年3月31日現在



平成25年度事業報告における附属明細書

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

平成26年5月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

平成26年 5 月 12 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 小 野 清 子

平成25年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成26年 5 月 20 日

監 事 西 本 克 己

監 事 天 城 一